

## 令和4年度 西砂学習館運営協議会（令和4年11月）会議録

日 時：令和4年11月8日（火）午後6時00分～午後8時35分 （敬称略）

出 席：大橋 加藤 小笠原 長谷川 岩元 能村 小林 森 増田 広瀬

欠 席：内金崎

事務局：石川 田中 俣本

### 1 開会のあいさつ

大橋：内金崎委員は欠席。本日は皆既月食なので後で少し見られたら良い。GOTO トラベルやGOTO イートがスタートし人の動きが活発になった。コロナ感染者数は前週同日よりプラスに推移。第8派の声が聞こえてきた。

### 2 令和4年度地域活性化講座について

#### (1) 「地域の再発見・地元を学ぼう！玉川上水の謎」

・8月28日（日）座学 参加人数：31名 スタッフ：8名

・10月9日（日）の散策（まいまいず井戸・小説家 中里介山のお墓・羽村の堰・羽村市郷土博物館） 参加人数：28名 スタッフ：12名

・10月30日（日）の散策（清流復活の碑・川越緑地古民家園 他）

参加人数：26名 スタッフ：8名

石川：3回が無事に終了。3回目の散策では16時頃までご説明を頂いた。

大橋：講師の知識を若い人に引き継いでもらいたい願いがあり3回講座を実施した。講師から、若い方の参加が少ないとお話があり、若い人が少しでも参加できるよう工夫し講座を企画していきたい。幸東五公園のブランコの奥に空襲で破壊された砂川国民学校の土台が残っている。知らないと何か分からない。立川市の公園なので表示があると良い。

#### (2) 「にしすな親子塾〈第6弾〉」

##### 【会場と日時】

西砂児童館/ 11月27日（日）午後1時～2時30分

##### 【内容】

「おやこのための読み聞かせ」 講師：たんぼぼ読書会の皆様

##### 【定員と対象】

15組 子育て中のパパ・ママとお子様

##### 【申込状況】

7組（17名）

##### 【参加予定の委員】 前回の運協で確認（敬称略）

大橋 長谷川 小笠原 岩元 森 広瀬（6名）

石川：会場は西砂児童館。申し込みは現在7組。講師から子どもの年齢により本が変わるとお話があった。参加の子どもは未就学児が多い。参加人数を増やすべきであれば、近

隣保育園へチラシをお配りする。

小笠原：児童館のルールとしては未就学児が保護者から離れる場合は保育士の配置が必要。  
未就学児がこれ以上増えるのは難しい状況。

石川：近隣保育園へのチラシ配布はしないこととする。

小笠原：保育については、講師はどう想定しているか。子育て広場の読み聞かせでは親子で  
30分程度行っている。

石川：講座の内容は2部制。前半は親子で読み聞かせを体験、後半は読み聞かせの話し。

小笠原：後半は小学生以上のお子さんは1階に移動し、職員が対応。未就学児は親と離れる  
のに抵抗がある年齢。子育てひろばと同じように、同じフロアに幼児用おもちゃを用  
意し、保育資格を持つ職員が見守る。講座としては親に聞いてもらえる。講師の来館  
時間、控室の有無について。

石川：確認してお知らせする。

### (3)「西砂川での災害を考える〈第6弾〉」

#### 【日時】

11月19日(土) 午後7時～午後9時

#### 【内容】

「自治会として何を考えようか」

講師：NPO法人 立川災害ボランティアネット

顧問 矢野 和孝 氏

#### 【方針】

西砂川自治会と砂川自治会(一部)の役員に出席を依頼し、一般の参加者は  
対象としない。よって、「広報たちかわ」や「ホームページ」には掲載しない。

昨年度の内容とほぼ同様の内容とする。

#### 【進行状況】

講師依頼済み。西砂川地区自治会役員会で会長に説明をして頂き出席依頼通知を  
渡し済。砂川地区自治会(残堀川より西側の3自治会)には会長宛に郵送で出席依頼通知を  
発送済。10/26(水)西砂川地区自治会役員会で再度参加の依頼。11/1(火)に講師と打合  
せ(矢野氏、加藤氏、石川)11/9(水)に資料を矢野氏から頂ける

【参加予定の委員】前回確認(敬称略)大橋 岩元 能村 加藤 増田 広瀬(6名)

石川：西砂川地区自治会の会合は午後7時から始まるので講座の開催時間を同じに合わせ  
た。ご案内は18自治会に渡した。1自治会は不参加、3自治会は参加の連絡を頂いて  
いる。11月11日が回答期限なので、11月12日以降に回答の無い14自治会には事  
務局から出欠確認する。講師との打ち合わせは加藤委員と行った。来年は関東大震災  
から100年に当たる年で、何か事業をやりたいとお話がでている。

### (4)「認知症予防講座」

- ・候補日 ⇒ 3/4(土)、3/18(土) 3/25(土) 午前中
- ・内容は前回と同じで良いか?
- ・その他(変更点・注意点)

石川：2月会場を予約できなかったので、3月で日程を調整したい。

岩元：3月25日以外でお願いしたい。

石川：3月4日か3月18日の実施で包括支援センターへお聞きする。内容は前回と同じ内容で依頼する。

岩元：同じ内容でも最新の情報を入れて話して頂けると思う。

大橋：毎日の生活のことなので具体的な話しがあるとありがたい。

#### (5)「西砂ウインターイベント」

【日時】12月27日(火)

【イベントの内容】

- ・昼食提供：立川産のお米の「おにぎり」と「豚汁」(予算：7,117円)
- ・冬休みの宿題が想定される「書初め」のお手伝い  
⇒ 講師は西砂書道愛好会の皆様(小林委員に、ご了承を頂いております)
- ・大根田氏に無報酬で「ダイヤ凧」の作成のご了承を頂いております

【申込方法・対象・定員】

- ・抽選方式(抽選参加方法：西砂学習館にメール、窓口で手書きの申込)
- ・立川市民に限る。市ホームページ・広報たちかわには掲載しない。
- ・チラシを西砂小と松中小に配布するのみとする。
- ・定員は2520名×2回(午前午後)とする。学年ごとに人数を割り当てる。
- ・毛筆が課題の3年生～6年生

【実施主体】重要

- ・西砂地区全体で実施する。  
⇒ 子どもに係る組織で重要なのは、青少年健全育成西砂川地区委員会
- ・長谷川委員を介して石井会長、大橋会長、石川で11/9(水)18:00に打合せ

石川：食事は多く見積もり70食を用意する。1人2個おにぎりを食べるとして、140個～150個を作る。子どもは全部で40名。

小林：足りないのは心配なので多めに作る。

石川：野菜は西砂産直売会に寄付して頂けるか確認する。小林委員は料理スタッフではなく書道へ入って頂きたい。

小林：書道メンバーに昼食は出るとお話ししたら喜んでいて。メンバーは今のところ10名。

石川：書道は学年ごとで課題が違うので、学年ごとで行うか。書道をしていないグループは大根田さんと田中に工作をお願いしている。3年～6年の4学年を4分割にするか。

大橋：書道については、何を期待しているのかの話がなかった。書道の中村先生に指導して頂きたいと思ったが、お手本が違うものを同時に指導するのは難しいとのことだった。西砂書道愛好会のメンバーにお願いしたかったことは、メインの講師が説明したときに、子どもの周りについて指導をして頂けたらと思った。子ども達は学校で1度は書いている。「中心が違うよ」など声掛けをして頂けたら、メインの講師がいなくても、サブ講師がたくさんいれば子ども達はそれなりに指導を受けられるかと思う。午前中3時間として、1時間半ずつ、2学年を教えるのは可能か。凧を作る時間はど

のくらいか。

田中：風の骨組みは1時間半あれば時間は余る。絵を描く時に時間の調整ができる。

森：準備を含めて時間をどうするのがスムーズになるか。会長が話した通り、10時～3時通しで行い、裏と表で行うのがスムーズと思う。

石川：3年～4年生が書道、裏で5～6年生工作、午後は5～6年生が書道、3～4年生が工作ということか。

大橋：書道は子ども20名が一度にできるか。机で行うか。

小林：机。第一教室で20名入る。

大橋：視聴覚室を風作りにするか。

小笠原：児童館で4年間書初めを行っている。講師1名で最大で8名の参加があった。小学3年生から中学生まで一緒に行っている。学年を分ける案を聞き、そこまで丁寧に言うかと意外であった。

岩元：書初めは、話の元は書初めのする場所がということだった。

小笠原：きっかけは場所貸しからだったかと思う。

大橋：場の提供だけでなく、学習館が持つ地域人材を活動に生かすのが使命だと思いアイデアを考えていた。場所だけの提供ならここまで考えない。

小笠原：子どもが1人で書初めをするには限界があるので、技術を持った大人、寄り添ってくれる大人は西砂書道愛好会の方々が相応しいと思う。人材を生かす、場所の提供、両方が可能だと思う。

大橋：具体的にどうしていくか。

岩元：書初めをするのは第一教室になる。40名が一度にはできない。

森：学年を分けないのであれば、午前20名、午後20名でどちらか都合の良い方に申し込み頂くのはどうか。風作りも面白い。

岩元：子どもは2時間、書初めができるものか。

小笠原：1時間位が丁度良い。

森：1時間書道、30分片付け。1時間工作でどうか。

田中：20名が一度に工作に来るよりは、順番で来てもらう方が教えやすい。

森：9時30分開始にし、書初めができた子どもから風作りに行き12時まで行う。その後にお昼を食べ終了ではどうか。

能村：子どもでも早くできる子、遅くできる子がいる。融通が利くと良い。

大橋：午前20名と午後20名。午前20名の中に3年～6年生は混合。最大8個の手本が出てくる。裏講座はどうするか。

森：時間調整もあるのであったほうが良い。

岩元：年末でもあるので一日子どもが学習館にいなくてもと思う。

森：午前参加者20名は13時までにお昼を食べて終了。午後参加者20名はお昼を食べてから13時から書初めを行う。

田中：時間は9時開始だと余裕がある。

能村：午前参加者20名を書初め10名、風作り10名に分けて行うか。

田中：学年がどのような分配でくるかにもよるか。

小笠原：午前が3年生・4年生、午後が5年生・6年生とするのはどうか。

大橋：風作りの時間はどのくらいか。

田中：目安としては夙制作だけで30～40分、あとは色塗りで時間調整が可能。  
岩元：時間が足りない場合は持ち帰り自宅で色塗りは行う。  
大槌：書初めを終わった子が随時流れてくるといって、その都度指導は可能か。  
田中：それも可能だが、10名、10名に分けての方がやりやすい。午前が3、4年生、午後が5、6年生に分けるとなお教えやすい。  
大槌：まず募集について決めたい。  
岩元：午前3年～4年生、午後5年～6年生で分けると教える方は楽だが参加者は縛りがでる。  
加藤：今までのサマーイベントでは兄弟の参加が結構いた。学年は分けない方が良いと思う。書初めのお手本は事前に書道愛好会の皆さんにお見せした方が良い。  
大槌：書初めのお手本は学校へ確認する。書初めをする意義をどこに置くか。西砂学習館を利用する団体が地域の子どもの活動に入るところが凄いいことと思う。学年枠は無くす。  
小林：ここで何年も書道をさせて頂いているので、これくらいは協力したいとメンバーに話した。  
大槌：サマーイベントを企画し7年目になった。今回は新たにウインターイベントを企画、今後は春休みもある。地運協の子どもの居場所づくりに何か違った団体、組織に主旨を理解してもらい活動を広げていけると子ども達がより多くのことが経験できるのではないかとこのところまで話が進展している。  
石川：ウインターイベントの申し込みは抽選にする。子どもに関係するところで全体をおさえているところは青少健ではないかということで、一枚加わって頂くと色々な点で話がスムーズにいくのではと考えている。青少健のメンバーが一番忙しい世代。いつもご協力をお願いするのは難しいのではと思っている。西砂川地区子どもを育てるネットワーク、松明祭りも場合により支援にいけるような相互の関係ができるのが良いかと思う。参加するかといったら重荷になってはいけないと思っている。イベントに関わりを持って頂けるような組織を作っていきたいと思う。  
長谷川：青少健のメンバーは仕事をしているので、毎回お手伝いに参加するのは難しいが、この事業に賛同し何かの手助けはできる。この地域のことなのでやるのは当然と私は思っている。橋渡しは十分できる。

#### (6) その他

石川：サマーイベントでの使いかけの調味料が残っている。ウインターイベントで使えるものもあるが、残っている食材を持ち帰って頂けたらと思う。来年のサマーイベント用にパスタ、ツナ缶、ホールトマトが残っている。

### 4 協議、報告及び連絡事項

#### (1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大槌：何かあれば事務局へ。

#### (2) 「地域学習館運営協議会交流会」について再掲

・日程：11月25日（金）午後6時～午後8時

- ・会場：西砂学習館（視聴覚室・第1教室）
- ・内容：「学社一体 について」
- 海野係長に学社一体の理念について 20 分程度話してもらう
- 5 グループ程度に分かれてコーディネーターとどの様に連携を取っているかを議題にグループ討議
- グループ代表者が討議内容を報告
- まとめ（庄司センター長に依頼済）
- 希望する学習館運営協議会は活動内容を掲示する
- ・展示：たちかわ市民交流大学 パネル展の掲示物を転用

【参加委員】大橋 加藤 内金崎 小笠原 長谷川 岩元 能村 小林 森 増田 広瀬

大橋：海野係長に学社一体についてお話を頂き、グループ討議を行う。私の方ではプリントしたものを読み上げる形で西砂運営協議会の報告をする。グループ討議の内容は、地域学校コーディネーターと学習館、地運協はどのように連携を取っているか、また取っていくのかについて。まとめは、センター長にお願いをする。グループ討議の記録はグループ内で行い、発表をして頂く。

石川：グループ内で書記、司会、発表者を決めてもらう。

岩元：西砂地運協委員のグループはどうするか。

大橋：各グループに入ってもらえるようになる。

広瀬：各グループで各地運協の説明をするが、西砂地運協については大橋会長が説明をするので、西砂地運協の説明は省略する。

岩元：分かれたときのテーマはどうするか。

大橋：西砂では地運協に地域学校コーディネーターに何回か参加して頂いている。どう連携し、子ども達の学びの支えができるかが大きい課題になっている。

広瀬：グループ討議の時間はどうか。最低 30 分は必要。

石川：展示物は交流大学のパネル展で使っているものを飾る。

加藤：各地運協からの参加者はいつ決まるのか。

石川：事前に決まる。

岩元：当日は早めに来る必要はあるか。

石川：準備は事務局で行う。集合は 17：30 でお願いしたい。

森：参加人数により当日振り分けされるのか。

石川：グループは事前に通知する。

広瀬：各地運協 4～5 人は来てほしい。

### （3）フリースペースについて（協議）

大橋：時間を取り次回行いたい。

小笠原：西砂児童館は食事については現在も不可にしている。

### （5）各委員から報告及び連絡事項（報告）

加藤：来年度、豊泉先生を講師に講演会をお願いする予定。今年末は自分史を出されるとのこと。

広瀬：「傾聴」という言葉をよく聞くようになった。「錦傾聴クラブ」から独立し「西砂傾聴クラブ」を1年前に発足。現在は「にこにこサロン」で毎月1回活動をしている。老人クラブでは11月21日～22日に栃木県へ旅行をする。

小笠原：学童保育所では来年度の入所申請が明日からスタート。西砂児童館では11月23日に柴崎体育館で立川市児童館対抗ドッジボール大会を予定。西砂児童館から低学年11名、高学年24名がエントリー。西砂小児童の参加が多い。5連覇を目指している。子ども達が怪我無く楽しんでくれることを目標にしている。

長谷川：10月松中小5年生対象に松明回しを行った。体育館では松明の作り方を指導して頂いた。当日は読売新聞の取材等が入った。松明回しが終わり、明日は来年の為に麦薪を行う。11月3日は中学生の主張大会に参加。七中生が議長賞を頂いた。中学生の力は素晴らしく感動をした。11月6日は健康フェア。来年1月8日は賀詞交歓会を予定。

岩元：西砂川地区文化会では、立川市民文化祭の展示が11月12日～13日にたましんRISURUホールで開催。この地域からの作品展示がある。先日は地域学校コーディネーターの会合に出席。グループに分かれ意見交換を行った。12月にここで地域学校コーディネーターとの情報交換会があるのでまたご報告したい。

小林：フリースペースは中止になり3年半近く経過。寂しく思う。子ども達とはサマーイベント、ウインターイベントで触れ合うことができ、忙しい思いで過ごしてきた。

能村：きらり冬号が発行される。リサイクルセンターの記事が載る。最後の学習館訪探訪は柴崎学習館。自分が初めて書いた。春号は特集記事が自分の当番で立川市畜産協会を考えている。

森：パソコンクラブではネットのセキュリティを確認し、来週はネット講座を行う。マイクロソフトのワンドライブをやりたいと思っている。3月の企画講座に向けてパワーポイントの講座を考えている。

増田：立川財政を考える会では10月8日は議員と市の決算カードの見方の勉強会を行った。10月22日は財政課にお願いし、令和3年度決算の話をお聞きした。11月5日は多摩住民自治研究所が50周年の記念イベントをたましんRISURUホールで行った。協力という形で一緒にさせて頂いた。

俣本：12月11日はみんなのクリスマスジャズコンサートを西砂学習館で予定。

田中：ウインターイベントでは大根田さんと一緒に工作を担当する。12月14日、大根田さんを講師にガニガラ田んぼの藁を使い、亀を作る講座を幸学習館で開催。機会があればここでも行いたい。

石川：自治会の会合に2回参加させて頂いたので、西砂川地区健康フェアにも参加。地域学校協働本部連絡会では各グループの司会進行は係長が行いスムーズに進行した。11月25日「地域学習館運営協議会交流会」も同じように係長に司会進行をお願いし、発表は委員の方にしてもらうのはどうか。

増田：良いと思う。

小笠原：地域学校コーディネーターとの日程調整はどうするか。

石川：12月17日でお願いしたい。

## 5 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、12月6日（火）

### <配布資料>

- ・〈資料1〉令和4年度 西砂学習館事業予定
- ・〈資料2〉西砂学習館運営協議会 令和4年度地域活性化講座（案）
- ・地元を学ぼう（第3回）伊豆殿掘・古民家園
  - ・地元を学ぼう「玉川上水の謎」アンケート集計
  - ・きらり・たちかわ たちかわ市民交流大学 活動の記録